

2021年の目標!!

当JA管内の地域農業を支える組織の代表者に
2021年の抱負を伺いました。



◆ 相馬村わい化栽培技術研究会 ◆

会長 佐藤 淳さん (54) 大助地区

2020年はコロナウイルスの影響により、例年行っている研修や、会合の中止が相次ぎ当会としての活動が少なく、寂しく思っていました。

2021年は出来なかつたことをやることはもちろんの事、高密植栽培の栽培技術等の情報発信をブラスアルファでやっていきたいと考えています。

個人的にはコロナウイルスに負けずに全力でりんご栽培に取り組むことです。



◆ JA相馬村農業青色申告会 ◆

会長 溝江 尚樹さん (50) 湯口地区

会長になり2年目ですが、まだまだ電子申告の普及をしていきたいと感じています。スマートフォンやタブレットでも可能であることから、是非多くの人にチャレンジしてもらいたいです。

個人的には年末に体を少し壊してしまったので、怪我や病気に気を付けて、良品・多収・高値・豊作を目指して頑張りたいと思います。



◆ 相馬村農協りんご共同防除組合連絡協議会 ◆

会長 三上 由紀夫さん (60) 五所地区

去年は青森県でも農作業事故で死亡事故に繋がることが2件程あったようで、本当に事故には気を引きしめた年でした。

今年は農作業事故が0件であることはもちろんの事、適期散布で高品質りんご生産に繋がるように取り組んでいきたいと思っています。



◆ J A相馬村女性部・エルダーミセス会 ◆

部長・会長 大黒谷 ヨリ子 さん (73) 前相馬地区

去年はコロナウイルス感染拡大防止の為、講習や研修が無くなり部員の皆さんにはご迷惑を掛けました。

何よりも相馬小学校の3年生の児童との料理教室を行えなかったことが一番の心残りでした。

今年こそは、行えなかった事業を全て行い、小学生との関係をより濃いものし、さらに女性部員、エルダー会員共に団結力を高めていきたいです。



◆ J A相馬村青年部 ◆

部長 柴田 康平 さん (39) 前相馬地区

去年は相馬管内での事業は取組むことが出来ましたが、県などの取組が自粛で行うことが出来なかったため、今年は、地域内で行う事業を更に力を入れて取組み、より一層地域の力になれるように、事業を考えて部として精進して参りたいと思います。



◆ 相馬村稲作生産組合 ライスロマンクラブ ◆

組合長 佐藤 喜久男 さん (63) 大助地区

昨年は皆様のおかげと、台風などの災害もなく収穫できたことに感謝いたします。

今年もコロナ禍ではありますが、園主の方々や青年部、育苗センター、ライスセンター役員の方々の協力のもと、安心・安全・食味のいいブランド米「青天の霹靂」を作って参りたいと思いますので、よろしくお願ひ致します。



◆ 相馬支会連合会 ◆

会長 清野 一基 さん (43) 紙漉沢地区

去年はコロナ禍ではありましたが看板更新や園地視察、講座等様々な事業を行うことが出来ました。

今は現場に行かなくても様々な情報が手に入る時代だが、改めて現場の生の声を聴き、見て、吸収することが大切だと感じました。

今年も事業を通して生の声と現場を見て会員と共に学んでいきたいと思ひます。